

市内循環バス見直しに関する住民意見交換会の開催

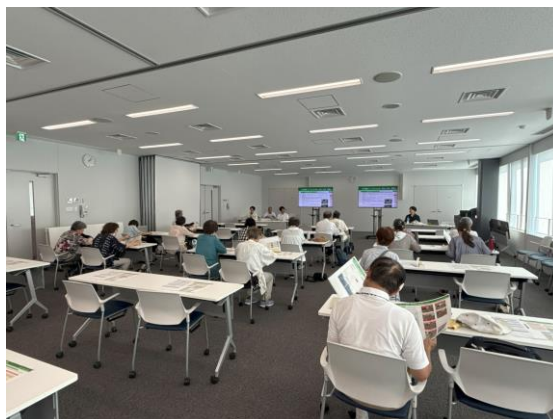
令和8年度に予定している市内循環バス「きらめき号」の見直しに関し、運行計画の詳細や乗降場所の検討を進めるため、住民意見交換会を開催した。

(1) 開催概要

開催日時	令和 7 年(2025 年)8 月 26 日(火)14:00~15:00 令和 7 年(2025 年)8 月 30 日(土)10:00~11:00
開催場所	柏原市役所 4 階大会議室
参加者	延べ 26 名(1 日目:17 名、2 日目:9 名)
主な内容	市より市内循環バス見直し案の説明後、市内循環バス見直し案の内容等について意見交換を実施

(2) 開催時の様子

【令和 7 年(2025 年)8 月 26 日(火)】



【令和 7 年(2025 年)8 月 30 日(土)】



(3) 主な意見

項目	主な意見
便数・運行日	・ 便数が少なく乗り継ぎの負担が大きい。 ・ 土日祝日の運行を希望する。 ・ 堅上ルートは午前便だけでも現状維持してほしい。 ・ サンヒル柏原(市民交流センター)への便数増加は理解できるが、他地域の減便は納得できない。
乗降場所・ルート	・ 健康福祉センターオアシス廃止後の代替乗降場所を確保してほしい。 ・ 健康福祉センターオアシス廃止後の代替乗降場所は、国道 170 号沿道ではなく、坂の上のエリア内で考えてほしい(迂回ルート提案あり)。 ・ 国分駅西口乗降場所(近鉄河内国分駅西口)は需要が少ないので、東口に一本化してほしい。 ・ 近鉄安堂駅からサンヒル柏原(市民交流センター)への新ルート(ハイエース車両)追加を要望。
乗り継ぎ・ダイヤ	・ バス同士の乗継時間が短いと接続できない。もう少し余裕を持って設定してほしい。 ・ 市立柏原病院からの帰り便は接続が悪く、次のバスまで約 1 時間待つ必要があり、高齢者にとって負担が大きい。
運賃・財源	・ 無料での増便は難しいので、有償化も検討してほしい。 ・ 市民が一定の負担をしてでも便数を確保してほしい。
子育て世代・高齢者・障がい者等への対応	・ 車いすやベビーカーが乗れるバス車両を確保してほしい。 ・ 乗降場所に高齢者が座れる椅子を設置してほしい。
生活利便 (買い物・通院)	・ 坂道は荷物を持って登るのが大変。 ・ タクシーはなかなか来ないので困る。 ・ 買い物や病院のためにバスの本数を増やしてほしい。 ・ 市立柏原病院の送迎バスは午前中の便で利用が集中しており、乗れないことがあるため、市内循環バスでの補完も必要である。
隣接市町との連携	・ 八尾市など隣接市町との連携ルートを検討してほしい。
文化・地域活動	・ 茶道教室は、月 2 回文化センターで開催しているが、令和 8 年度からはサンヒル柏原(市民交流センター)での活動を予定している。 ・ 史跡高井田横穴公園に隣接する市立高井田文化教室「柏陽庵」では、土日に年 5 回、120～150 人規模の集まりを開催している。 ・ 参加者の多くは高齢者であり、自動車に頼らざるを得ない状況にあるため、公共交通によるアクセス確保が必要である。
情報発信	・ 広報の掲載が小さく見落としやすい。 ・ 高齢者と若者で情報源が異なる。 ・ 柏原市公式 LINE での情報発信を希望。